

月 日	行 事	時 間	会 場
6月15日(木)	年金支給日啓発	10:00~	市内大型店4店舗
6月15日(木)	3歳児健康診査時啓発	12:00~13:00	総合福祉センター
7月20日(木)	3歳児健康診査時啓発	12:00~13:00	総合福祉センター
7月22日(土)	くらしの安全・安心セミナー	10:00~12:00	市民会館大会議室
8月 3日(木)	第1回商品試買量目調査	10:00~12:00	市民会館調理室
8月15日(火)	年金支給日啓発	10:00~	市内大型店4店舗
8月24日(木)	3歳児健康診査時啓発	12:00~13:00	総合福祉センター

登別消協だより

登別消費者協会 登別市片倉町6-9-1 登別市総合福祉センターしんた21内
電話・Fax (0143) 85-8307

会長就任の挨拶

会長 山田 則子

この度の定期総会で会長に就任いたしました。消費者協会の諸先輩の活動を振り返り、日々勉強しております。新型コロナウイルス感染症で制約が多かった3年間で、私たちの生活スタイルにも変化が出ています。

また、この2~3年の物価の上昇はとどまるところを知りません。光熱費、食料品、価格の優等生だった卵は値上がりするばかりでなく、店頭から姿を消しています。身の回りを見渡してもキャッシュレスが進み、カード、ポイントなどカタカナが多くなりました。しかし、安全・安心な生活を継続出来ることが私たち消費者協会の大事な柱でもありますので、最新情報を収集して提供をして参ります。5月から新型コロナウイルス感染症は2類から5類相当になり、行動も緩やかになりました。消費生活展も研修会も3年前と同様に活気溢れる催しになることを願っております。



何をするにも活動の推進にあたっては、皆さま方のご理解、ご協力が必要ですので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

令和5年度定期総会終わる

令和5年度の定期総会を4月28日(金)に本人参加33名、委任53名、合計86名のご参加のもと開催しました。

安達会長から「令和4年度は新型コロナウイルスの影響を受けたが、予定していた催しは、参加された多くの人から好評でした。今後も安心・安全な消費活動の普及を」と呼びかけました。

ご来賓として、小笠原市長、赤根道議会議員、辻登別市議会議長、木村登別商工会議所会頭からご挨拶頂き、小笠原市長からは、「電気料金の値上げを始め、物価高に対する取組のご協力をお願いしたい」とのお言葉を頂きました。

その後、議事に入り、令和4年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、令和5年度の事業計画、収支予算、役員の変更について審議され、議案は全て承認されました。

登別消費者協会新役員3役

会長 山田 則子
副会長 山田 妙子 坂東 百合子
監事 掛端 榮子 木村 俊子



価格調査 (5月11日現在)

品 名	区 分	安値~高値 (円)	店舗数
LPガス	基本料金	1,800~2,640	10店舗
	5m ³	4,796~8,393	
	10m ³	7,392~12,705	
ガソリン	フルサービス	158~168	8店舗
	最多価格	168	4店舗
	セルフサービス	155~165	6店舗
	最多価格	165	4店舗
灯油	配 達	110~118	22店舗
	最多価格	110	7店舗

コメント:前月に比べLPガス・ガソリン・灯油の価格は、大きな差がなく横ばいの状況となっております。

健康寿命延伸のための新数値目標!!

厚生労働省では、2024年度からの「国民健康づくり計画」の数値目標で、高血圧予防のため1日あたりの食塩摂取量を現状の10.1gから7gに減らすほか、心身の健康維持のため、睡眠時間を十分に確保できている人の割合を60%に上げるなどについて6月にも正式決定するようであります。

食生活では、野菜や果物は脳卒中、心疾患の死亡率低下に関係があるとされることから1日当たりの摂取量を多くする。野菜は現状の281gから350gに、果物は99gから200gに設定。

睡眠は現状55%から60%に、1日の歩数は6000歩の達成を目指す。



編集後記

今年の桜前線は例年より2週間早く、ゴールデンウィークも家族揃って楽しんだようです。

4月28日の定期総会も無事終わり、新たな役員も決まりました。コロナも2類から5類への移行となり、マスクも個人の判断となりましたが、終息が不透明な状況です。一人ひとり気を付けて生活しましょう。

今野 山田(則) 森谷 鳥海 小野

令和5年度研修会の結果について

定期総会終了後、研修会として、室蘭ガス株式会社営業部次長の吉田隆光氏を招き、「室蘭ガスのゼロカーボン社会への取り組み」～これからの省エネの紹介～と題して、国や北海道、登別市と室蘭ガスの取り組みについてお話がありました。

冒頭、登別市では全世帯のうち42.2%の世帯が室蘭ガスのガスを使用しているとの紹介がありました。

近年、二酸化炭素が増えたことにより気候変動が激しさを増してきたこと、その為に二酸化炭素を削減する必要があること。また、高騰する電気料金のため「省エネルギー」「省コスト」を考へる家庭が増えていること。対策としてオール電化住宅からエコジョーズなど省エネ機器への取り替えが増えていることが紹介されました。

また、このような省エネ機器への取り替えは二酸化炭素の削減にもつながることから、登別市では取替えに補助金を考へていることの情報提供がありました。最後に室蘭ガスのゼロカーボン社会への取り組みとして、環境省の水素実証事業について紹介があり、ビデオにより詳しい説明がありました。



胆振消費者協会連合会定期総会が開催されました

5月23日(火)室蘭市の胆振地方男女平等参画センター「ミンクール」において、青山剛室蘭市長、木内武雄胆振総合振興局暮らし・子育て担当部長を来賓にお迎えして苫小牧、室蘭、登別、伊達の4市の消費者協会で作る連合会の定期総会が開催されました。

冒頭、安部会長が「消費者運動は誰も置き去りにしない、忍耐強い地道な活動であることに誇りを持ち、さらに前進していきたい」とあいさつがあり、ご来賓の挨拶、メッセージ紹介の後、議事に入り、令和4年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、令和5年度の事業計画、収支予算、について審議され、議案は全て承認されました。

引き続き、総会終了後、研修会として「室蘭イタンキ浜鳴り砂を守る会」会長 菊地富子氏より「鳴り砂保全26年で学んだこと」をテーマに講話をいただき、全国でも数少ない鳴り砂の砂浜が、海洋ゴミ等の影響により、保護のために会が発足されたことに触れられ、打ち寄せられたゴミには、近隣諸国の言語が印刷されたゴミも多く、鳴り砂の保全に留まらず、海洋ゴミ問題の現状をお聞かせ頂きました。

イタンキに留まらず、私たち登別の海岸に打ち寄せられる、海洋ゴミの取り組みの必要性を痛感致しました。



消費者月間「消費者の日」街頭啓発を実施しました!!

今年の消費者月間「消費者の日」街頭啓発は、「デジタル快適・消費生活術～デジタル化の進展と消費者の暮らし」を全国統一テーマとして街頭啓発を実施しました。

《高等学校等での啓発》

5月9日(火)7時30分から、小笠原市長はじめ、辻市議会議員、市担当職員や消費者役員が明日中等教育学校の登校時間にあわせて、生徒玄関入口で「狙われる若者」のリーフレットとウェットティッシュを配布し啓発を行いました。

会場では小笠原市長が生徒一人ひとりに元気よく声掛けをし、殆どの生徒さんたちも笑顔で受け取っていました。

成年年齢も18歳に引き下げられたことから、消費者教育の大切さを感じたところでありました。



《大型店での啓発》

5月27日(土)10時から消費者月間『消費者の日』街頭啓発を市内大型店5店舗(コープさっぽろしがイースト店、コープさっぽろのぼりべつ東店、イオン登別店、ラルズホームストア幌別店、マックスバリュ登別店)で小笠原市長、市議会議員、市担当職員や消費者協会役員をはじめ、今年は室蘭警察署登別交番の警察官にも参加頂き実施しました。

当日、コープさっぽろのぼりべつ東店では小笠原市長のご配慮により、買い物に来た市民に対して各店舗の出入り口で、あなたを狙う「振り込め詐欺にご用心!」のリーフレットとポケットティッシュを配布し啓発を行いました。

全ての啓発場所において、消費者から「電話がきたが、はっきり断ったよ」「私は大丈夫だよ」などの声が寄せられ、日常の啓発活動に大切さを感じさせられました。

今回、初めて室蘭警察署と一諸に啓発活動を行ったことから、お互いの情報交換を行い、交流を深めることが出来ました。

